

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

●会長 白木 誠一

●幹事 古田 哲朗

ロータリー：変化をもたらす

No.1588 平成 29 年 10 月 18 日 第 15 回例会

ロータリー：
変化をもたらす※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

■点鐘

■国歌斉唱

■ロータリーソング「我等の生業」

■来訪者紹介

(会長 白木 誠一)

米山奨学生 翁力棟 君

■会長の時間 (会長 白木 誠一)



糖尿病の疑い強い人は推計 1,000 万人 厚労省調査

糖尿病が強く疑われる人が全国でおよそ 1,000 万人に上回ると推計されることが厚生労働省の調査でわかりました。

1,000 万人に達するのは調査開始以来初めてで、厚生労働省は早期発見や予防につなげるためいわゆるメタボ検診などを積極的に受診してほしいと呼びかけています。

厚生労働省は、去年 10 月から 11 月にかけて、全国から無作為に抽出した 1 万 1,000 人余りを対象に血液検査を実施しました。その結果、20 歳以上の男女のうち、「糖尿病が強く疑われる」とされた人は、男性で 16.3%、女性で 9.3%に上り、人数にすると推計で男女合わせておよそ 1,000 万人に上ることがわかりました。

これは前回の平成 24 年に比べて 50 万人多くなり、平成 9 年の調査開始以来初めて 1,000 万人に達しました。また、糖尿病の可能性が否定できない「予備群」とされる人もおよそ 10,000 万人に上ると推計されています。

一方で、糖尿病が強く疑われる人のうち、現在治療を受けている人の割合は 76.6%にとどまっています。

厚生労働省によりますと、糖尿病は悪化すると合併症によって失明したり、最悪の場合、死亡したりすることもあり、早期に発見して治療を受けることが重要とされています。しかし、初期の糖尿病は、サソリキラーと呼ばれ、痛みなどの自覚症状がないため病気に気付

かない人も多いと見られていて、厚生労働省は早期発見や予防につなげるため通常の健康診断に加えて、いわゆるメタボ健診などを積極的に受診してほしいと呼びかけています。[まずはメタボ検診を]糖尿病などの早期発見や予防のため、厚生労働省が受診を呼びかけているのが、「特定健診」、いわゆる「メタボ検診」です。

内臓に脂肪が付いて生活習慣病の危険性が高まるメタボリックシンドロームに着目した検診で、おなか周りの長さの測定や血液検査を行い、病気になる危険性が高い人を見つけます。

危険性が高いとされた人は、食事や運動など生活習慣の改善をサポートする「特定保健指導」を受けられます。病気の人を見つけるだけでなく、病気になる手前の段階の人を見つけ、健康作りにつなげるのが、「メタボ健診」の狙いです。

平成 20 年度から、40 歳から 74 歳までの人を対象に実施することが、健康保険組合など公的医療保険の運営者に義務づけられています。

厚生労働省によりますと、メタボ健診を受診した人は年々増加していて、平成 27 年度は、2,700 万人余りとなっています。

専門家「バランスのよい食事と運動を」国立健康・栄養研究所の瀧本秀美部長は、「糖尿病のリスクとなる肥満には特に中高年の人がなりやすく、高齢化が進み、この世代の人が増えていることから、糖尿病が強く疑われる人も増加している。

特に男性は女性よりも肥満の割合が高く、50 代から糖尿病が増えてくるので、若いうちからバランスのよい食事や運動を心がける必要がある。夜中まで仕事をして夜遅くに食事を取り、朝食を食べないという人も珍しくなく、長時間労働の是正や社員の健康管理など企業側の取り組みも求められる」と話していました。

平成 29 年 4 月 1 日現在(確定値)の総人口は、1 億 2676 万 1 千人。

平成 29 年 9 月

1 日現在(概算値)の総人口は、1 億 2667 万人

65 歳以上は 27.5%、そのうち 75 歳以上は 13.5%

もうすぐ 65 歳以上の人数は 3,420 万人の 3 人に一人の割合になる。ミックジャガーは 74 歳で 31 歳の年齢差 43 歳で、ジョージ・クルーニーは 56 歳で 39 歳の年齢差 17 歳で、リチャード・ギアは 68 歳で 34 歳の年齢差 34 歳で、ちなみにトランプ大統領は 71 歳で 47 歳の年齢差 23 歳です。58 歳の時に 3 度目の結婚をしたお相手は、ふたまわりも年下で現在の妻のメラニアさん。

■幹事報告 (副幹事 村瀬直久)



1) 永田壯一 ガバナー、坂口滋一 米山記念奨学会部門長より、カウンセラー報告会・意見交換会、懇親会の案内。

日 時：平成 29 年 11 月 24 日 (金)

17:00~18:20 (報告・意見交換会) 後、懇親会

場 所：メルパルク熊本

熊本市中央区水道町 14-1 TEL 096-355-6311

対象者：世話クラブ会長・幹事・カウンセラー・奨学生・学友・米山地区委員

懇親会会費：8,000円 (ロータリアン)

2) チャイルド・ファンド・ジャパンより、熊本東南RCの新しいチャイルド、サイジャン・パデシオからの手紙の送付。

「親愛なる熊本東南ロータリークラブの皆様

僕は、サイジャン・パデシオ、7才です。皆さまのチャイルドになったことにお礼を言います。一生懸命勉強します。僕は、バドミントンとバスケットボールが好きです。僕は礼儀正しく、勤勉で愛情をもった子どもです。

僕の勉強を支援してくださってどうもありがとうございます。

チャイルドのサイジャン・パデシオ」

3) 第4回定例理事会報告。

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 佐野 茂)



ロータリーは、すべての奉仕活動の指針として、さらには、ロータリアンの人生の信条としてこの「四つのテスト」を指針にするように奨励しています。

そもそも、この「四つのテスト」の終局のねらいは、立派な人間づくりにあります。

そのためには、まず、心の中で考えていることがいつも立派でなければならないということです。ものを言う言葉やあるいは行動がどんなに立派であっても、心がよこしまであっては見せかけだけになり、これではいけないということです。

日本の訳した最初の前文は「言行はこれに照らして」となっていますが、英語の原文においては“think, say or do”となっており、“say or do”ものを言ったりあるいは行動したりする場合には、それより先にまず、“think”心の中の考え方が正しくなければならないということです。

つまり、「四つのテスト」は正しくものの考え方をするための指針であると言えます。

さて、現行はこれに照らしてということで四つの要素があり、これをサラッと読みますと、至極当然のことのように思われますが、よくよく吟味してみますと、なかなかそうもいかない難しさがあります。

まず第1の「真実かどうか」を考えると、ここではたと行き止まってしまう。

たとえば、お医者さんがある患者を診断した結果、その患者がガンだったとします。しかし、お医者さんは、患者本人に対して「あなたはガンです」とはなかなか言えない問題があります。お医者さんは多くの場合、患者の心情を考慮して本当のことをなかなか言えないのではないのでしょうか。そうした場合、ここにいう「真実かどうか」に反することになるのではないのでしょうか。

また、こんな話もあります。ある肥ったご夫人の前で、「あなたはよく肥えておりますね」といった場合そのご婦人はどう思うでしょうか。多分「なんて失礼な」ということになるでしょう。「いや、私は本当のこと、真実を言ったのです」とは言っても、お互いにきまづい状態になることは必定です。

こう見てくると、この「四つのテスト」をそのまま日常生活にあてはめたのでは、実際の生活との間でギャップがあり、「これでは現実的ではない」などの声がかかります。これはどうもこの第1で引っかかるからです。

そこで、この「四つのテスト」を第1からではなくて、逆に第4から考えていく方法をとってみたいかどうかということです。

私たちがものを言ったりあるいは行動する場合に、第4の「みんなのためになるかどうか」ということから考えるということです。「その人の為になるか」あるいは「みんなのためになるかどうか」は、奉仕することです。ロータリーは「相手の身になって人のために尽くす」ということが奉仕の第一義でありますから、言行はまずこの奉仕の理念、奉仕の精神に合致するかどうかを考えます。

そして、しようとするのが、次の第3「行為と友情を深めるか」を考えます。みんなの為になるとしてやったことでも、またどんなに立派な奉仕であっても、独り善がりのものであってはなりません。そのことが、相手に喜んで受け入れるものなのか、また、友情を深めるものなのかを考えるということです。

そして、第2の「みんなに公平か」を考えます。これは大変難しいものです。文字通りに受けとることになると悪平等になりますし、逆にあまり斟酌しすぎると公平を欠くことになります。たとえば、瀕死の重病患者を順番通りに見ていたのでは、奉仕にも反するし、友情を破る結果にもなりかねません。ここでは人間的な公平ということを考えなければならないということです。

そして、最後に「真実かどうか」ということを考えるということです。

事実と真実とどう違うのかということを考えてみましょう。事実と真実は必ずしも一致するものではないということです。

事実というのは一つしかない物理的な判定です。たとえば、「その日は晴天であった」という客観的に見て本当であるさまを表します。一方真実というのは、人間の心を通して、厳密に判定した結果であるということです。

いいかえれば、第4から第2までに照らして、これにもとらない、これに反しない良心的な結果に基づく言動が真実であるということです。

■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 松本一也)



ローターアクト活動報告 (10月15日バーベキューの件)

■委員会報告

(職業奉仕担当委員 宮川義行)

平成 29 年 10 月 13 日 (金) の IM 報告



■委員会報告

(姉妹クラブ担当委員 中島祐爾)

和歌山訪問は 11 月 22 日 (水)・23 日 (木・祝)



■委員会報告

(会長 白木誠一)

指名委員会開催の件

■委員会報告

(永野昭一)

IT 同好会、本日開催いたします (Facebook について)

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
10 月 04 日	40 (免 2) 38	27	4	31	81.58
10 月 18 日	40 (免 2) 38	26			68.42

出席免除

10 月 04 日 住江正治 坂梨友一
 10 月 18 日 住江正治 鷺山法雲

欠席者 (7 名)

10 月 04 日 島村徹男 堤 勝也 河岸彦治
 内田敏視 山本浩之
 益田敬二郎 小松野正彦

今度の 100% 出席の日は 10 月 25 日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 松岡泰光)

◎村瀬直久 10,000 円

息子が東京都の教員採用試験に奇跡的に合格しました。来年 4 月からは教員として働きます。親の務めもあと半年です。

◎白石繁 5,000 円

誕生日プレゼントありがとうございました。本日は誕生日です。63 才になりました。五十肩の痛みが半年取れません。



◎前田日出夫 5,000 円

先週から IM での山田会員の立派なスピーチ。日曜日には内田信行会員宅でのバーベキュー、手ぶらで行ったのに帰りに米までもらってありがとうございました。また、奥様のおもてなしには感謝です。

◎宮川義行 5,000 円

10 月 13 日の IM お疲れ様でした。懇親会で佐野さんをはじめ皆様から背中を押してもらったおかげで 10 月 14 日の京都でのスピーチを行うことができました。映画「健さん」試写会でお世話になった小川さんの瑞宝小綬章授章祝賀会が京都ホテルオークラで行われ、福井さん御夫妻と 3 人で出席して、昨年のお礼を申し上げてきました。高倉健の元マネージャーの西村さんをはじめ門川京都市長、小川さんの奥さんが大ファンだということで招待された歌手の中条きよし、京都府の各町長消防関係者の方々と大変賑わいました。京都では日本酒で乾杯の条例を作られた門川市長の乾杯の後、5 分ほどスピーチをさせて頂きました。内容は週報に載せて頂きます。お祝いの電報も届きました。松岡さんありがとうございました。

夜は祇園で芸妓さんを変えて種子島や福井、東京の消防の関係者の方々と交流をしました。

15 日は朝から西村さんの心遣いで、生前、高倉健が通い続けた喫茶店に連れて行って頂きました。高倉健がいつも座っていた席でいつも飲んでいたコーヒーを頂きました。美味しかったです。東京ロータリーを代表して、白木会長に小川さんからお土産を頂いてきました。後程、皆様にもお礼を送りたいと言われました。西村さんからは東南ロータリーの皆さん、大勢で京都に遊びに来て下さい。精一杯招待しますと言われました。現在書店に並んでいます「高倉健 - 7 つの顔を隠し続けた男」の中に西村さんの事が詳しく紹介されています。今回は突然に決まりましたが、東南ロータリーの代表という形で参加できて大変光栄に思います。皆さんありがとうございました。

◎永野昭一 2,000 円

内田信行会員には大変お世話になりました。バーベキュー、豚汁、ぜんざい、美味しかったです。米もお土産ありがとうございました。

◎松本繁 2,000 円

内田信行会員宅でのバーベキュー、大盛会でとても楽しかったです。内田御夫妻に感謝してスマイルいたします。

■卓話

DVD 上映

ロータリー米山記念奨学会財団設立 50 周年記念
「世界へ届け米山の懸け橋」



■点鐘

編集者 村瀬 直久

●宮川義行会員スピーチ

小川輝明様 瑞宝小綬章授章祝賀会
10月14日 京都ホテルオークラ



ただ今ご紹介にあずかりました宮川でございます。熊本東南ロータリークラブを代表してお祝いを述べさせていただきます。小川様、この度のご叙勲、誠にありがとうございます。奥様におかれましても誠に喜び申し上げます。

昨年4月、熊本は2度の大きな地震を経験しました。震度7を超える前震と本震、4000回を超える余震に見舞われました。死者50名、昨年の12月の時点で自殺も含め関連誌が189人にのぼっています。あれから1年半が経ちましたがまだまだ復興半ばであります。昨年4月14日夜9時26分、私たちは生まれてこのかた経験したことのない激震に見舞われました。

中島貞夫監督を通じて懇意にさせて頂いていた小川さんから、その日のうちに「大丈夫か？」のメールを頂きました。その2時間後の4月16日午前1時25分、更に強烈な地の底からわき上がる地響きと激しい横揺れに襲われ、這いつくばって外に飛び出しました。

そこから始まる避難生活、倒壊した家、傾いたマンション、亀裂が入って団子のように盛り上がった道路、何日も続く停電、断水、避難所に届かない飲料水。そんな中、17日に京都市50名、京都府50名の消防の方々が熊本に向かったと小川さんからメールが入りました。大変励まされました。

私たちも連日、屋根の修理、シート張り、倒れた塀やブロックコンクリートの撤去、倒木の撤去、避難走路の確保と、不眠不休で必死でした。

そんな中、4月20日、小川さんから「健さんの試写会熊本でやっであげようか」との言葉を頂き、皆で話し合って熊本東南ロータリークラブとして受入体制を取りました。

皆でパンフレット、ポスターを作り、被災地、仮設住宅をまわり、8月11日、250名を超える被災者の方々に集ってもらい、盛況のうちに映画「健さん」の試写会が行われました。

上映後、関係者、被災住民、共に涙々の感激があり、復興の気持ちを1つにすることができました。

西村様にも大変お世話になりました。小川さんの「何とかしてあげよ！」の思いが届いた瞬間でした。

今回の受賞、熊本東南ロータリークラブといたしましても大変うれしく小川さんには感謝の気持ちをしっかり伝えてこいとロータリーの先輩たちから背中を押されて参りました。

改めまして、小川さん、ありがとうございました。今後とも、一層ご活躍されますように願っています。お時間ができましたらぜひ西村様、奥様とご一緒に熊本にお越しください。お待ちしております。

なお奥様が中条きよさんの次にファンでられます姜尚中さんにお会いして本日サプライズでお越し頂けないかとお願ひしましたところ、あいにく北海道での講演と重なり、宜しく復興支援のお礼を伝えておいてほしいとの事でした。小川様、奥様、本日は誠にありがとうございます。これで私のお祝いの挨拶とさ



せて頂きます。

最後にR K K熊本放送制作の熊本地震の記録とビデオと熊本東南ロータリークラブからのお祝いを受け取ってもらえたらと思います。

●第2720地区第3グループIMの模様

平成29年10月13日(金) 15:30～
熊本ホテルキャッスル

